

心身共にたくましく、自ら学ぶ、心豊かな子どもの育成



茅小だより

第7号

令和6年10月31日

茅ヶ崎市立茅ヶ崎小学校
校長 工藤 裕一郎

「チャレンジは成功のもと」、「持ち前の思いやりを言葉や行動で表現しよう」

10月11日(金)は、久しぶりに全校で体育館に集まり、前期終業式を行いました。そこで次のようなお話をさせていただきました。

「『失敗は成功のもと』と言いますが、私は少し言葉を変えて『チャレンジは成功のもと』と言っています。『失敗』というだけではいけないような気になりますが、『チャレンジ』と言えば何度でもやれそうです。10回に1回は成功するかもしれません。チャレンジしない人は失敗すらもできないのです。チャレンジとは、なにもスポーツやお勉強に限りません。給食場でお仕事をしてくださっている方々に、『いつも美味しい給食を作ってくださいありがとうございます』など、これまで言ったことやしたことがないことをやってみるのもチャレンジです。後期の皆さんのチャレンジに期待しています。(概要)」



10月17日(木)には、再び全校で体育館に集まり、後期始業式を行いました。そこでは次のようなお話をさせていただきました。

「皆さんには、思いやる心、優しい心、温かな心が必ずあります。アサガオやひまわりを育てて喜んだり、アゲハ蝶が成虫になって飛んでいくのを喜んだりしているのはその証拠です。大切なのは、持っている自分の思いやりの心を言葉や行動で表すことです。先日亡くなったドラえもんの声で有名な大山のぶ代さんは、初めてのテレビの収録があったとき、全国の子どもたちが見ているのだからできるだけ丁寧な言葉を使いたいと思い、本来原作や台本では、ドラえもんは自分のことを『おれ』と呼んでいたところを『ぼく』に変えたそうです。その後、作者の藤子・F・不二雄先生にお会いした時、怒られるのを覚悟で『ドラえもんの声いかがだったでしょうか』とおたずねしたところ、先生は『第1話を見ました。ドラえもんの声はああいう声だったのですね。』と笑顔でおっしゃってくださいました。大山のぶ代さんの子どもたちを思いやる気持ち、藤子・F・不二雄先生の大山さんを思いやる気持ちが伝わるエピソードですね。後期からの皆さんの思いやりの言葉、行動を楽しみにしています。(概要)」

第2回縦割り活動を実施

10月8日(火)に、第2回目の縦割り活動を行いました。開始式を校長室からのオンライン配信で行いましたが、5年生の運営委員が2名校長室に来て、司会進行とはじめのことばを校長席から配信してくれました。

年上の皆さんが中心となって、レクリエーションのアイデアを考えてくれたのだと思いますが、



国語、算数などの教科学習にまつわるレクリエーション活動を通して、皆さんが楽しみながら学べるよう、様々な工夫をしてくれていました。とても感心しました。その日の縦割り活動で終わるのではなく、次の日からの授業にもつながる行事になったのではないのでしょうか。

1年生「秋探し遠足」実施

10月23日(水)に1年生が「秋探し遠足」に出かけました。とってもワクワクするような素敵な行事名だと思います。茅ヶ崎市の第一カッター黄色公園まで歩いて秋を探す遠足です。好奇心でいっぱい1年生は、登校した時から目を輝かせてとても楽しみにしている様子でした。頼もしいですね。



出発式では、増田先生より3つのお約束についてお話がありました。一つ目、様々な生き物などに親しみ秋を感じよう。二つ目、友だちと仲良くしよう。三つ目、交通ルールや決まりを守ろう。そして、川添先生からは、茅ヶ崎小学校の人たちだけではない公共の場。譲り合って過ごしましょう。特に配慮が必要な人には積極的に譲りましょう。皆さん守れたことと思います。

途中雨に降られましたが、雨具の準備と団結力と賢い行動で、なんとか遠足を最後まで予定どおりやり抜き、無事に学校まで帰ってきました。とても立派でした。帰って来てから、昼休みに校長室に報告に来てくれた1年生が何人もいました。私の「楽しかったですか」の問いに、声をそろえて「楽しかったです」と答えてくれました。「何が楽しかったですか」の問いには、人それぞれ口々に「秋探しのビンゴ」「お弁当」などと元気よく答えてくれていました。「秋は何が見つかりましたか」の問いに、「どんぐり」、「いいにおいの花」、「キノコ」などの答えが返ってきました。いろいろな秋探しができたようですね。

5年生宿泊行事「キャンプ」実施

10月24日(木)、25日(金)と1泊2日の行程で、5年生が待ちに待ったキャンプを実施しました。愛川ふれあいの村での2日間です。出発式で校長先生からの一言という時間をいただきましたので、5年生の皆さんに、行事を大成功におさめるための魔法の言葉をさずけました。その言葉とは「感謝」です。この2日間で「感謝」の気持ちから来る言葉をたくさん使いましょう、心にずっとその気持ちを持ち続けましょう、と提案しました。キャンプは、5年生の皆さん、先生方はもちろん、一緒に付き添ってくださる先生、スタッフの方々、2日間学校を守ってくださる人々、ご家族の方々、実に多くの人たちに支えられて成り立っている行事です。



最初のプログラムは、レインボープラザで取り組んだ藍染体験でした。プラザのスタッフの方々のご指導のもと、バンダナ作りに取り組みました。

その後、レインボープラザから、愛川ふれあいの村まで歩いて行きました。茅

ヶ崎小の周辺とはおよそ異なる自然の中を歩いたので、たくさんのおいしい空気を吸いながらの良い運動となったのではないのでしょうか。愛川ふれあいの村に到着したらさっそく入村式。村長さんをはじめ、現地スタッフの人たちが温かく迎えてくれて、歓迎のごあいさつとともに村でのルールなどについて話をしてくださいました。どの場所にもルールがあります。「郷に入っては郷にしたがえ」という言葉がありますが、皆さんは、愛川ふれあいの村の村民としてふるまえたでしょうか。



野外炊事も頑張りました。火おこしや具材のカット、お米たきなど、家で行う料理とはひとあじもふたあじも異なるダイナミックな炊事にワクワクしたことと思います。できばえは様々だったようですが、「チャレンジは成功のもと」。今日の経験がいつかの成功につながると考えれば、チャレンジした時点でもう成功です。

夜はいよいよキャンプファイヤー。火の神が点火し、一気にムードが出ましたね。「協力」の火、「幸せ」の火、「団結」の火、「絆」の火が、今も皆さんの心の中にとり続けていると嬉しいです。石井先生のギターや磯寄先生のキーボード伴奏にあわせて歌ったキャンプソング、心にしみました。ゲームやダンスも楽しそうで、5年生の皆さんのパワーを感じました。そして各クラスで披露したスタンツ。皆さんのすばらしいアイデアとパフォーマンス、バラエティーにとんだ衣装などに圧倒されました。

翌朝は、雨が降ったことにより、朝のつどいを屋内で行いました。スペースが十分にとれない関係でラジオ体操ができなかったのですが、そこはさすがの茅小の5年生。優しく、賢く、たくましく、すわってできるストレッチ体操にきりかえ、それをリードしてくれる児童もいました。

最後のプログラムでは、写真オリエンテーリングに挑戦しました。ポイント探しにとどまらず、先生方がアレンジして加えてくださったクイズやパズル、グループで取り組む任務などにも挑戦。班で考えながら、話し合いながら、協力しながら楽しめました。5年生の皆さん、この2日間を通して大きく成長した姿を、これからたくさん見せてください。

3年生「魚卓」見学実施

10月1日(火)、3年生は先月のスーパーたまやの見学に引き続いて、地域密着の魚屋「魚卓」の見学を行いました。地元の朝どれ・昼どれの新鮮な地魚を多く取り扱っている店ですので、スーパーとはまた違った工夫やセールスポイントがあることを学びました。3年生の、魚卓さんへのお礼状には、「いつも利用しているけれど、あんなにたくさんの方の工夫をしているとは考えてもいませんでした」、「たくさんの方の質問に丁寧に答えてくださってありがとうございました」、「行ったことはあるけど、ねこザメを見たことがなかったのでびっくりしました」などの言葉が見られました。ご協力いただける地域の商業施設の皆様に感謝したいと思います。

